

組織目標管理シート

年度	令和5年度			(参考) 関連する総合計画における政策指標	地域コミュニティ協議会における活動状況・人員体制・財政状況などの自己目標達成度(政策1) 職業を理由とした県外との転出入数(政策11) 日頃から災害に対する備えをしている市民の割合(政策13) 市域から排出される温室効果ガスの削減量(政策16)	作成日	R5.4.1
組織名(部)	秋葉区役所	組織名 (準部・課・機関名)	地域総務課			評価日	

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)			
1	少子高齢化など人口減少が進行する状況において、区内の各コミュニティ協議会による未来ビジョンを策定することにより、地域の課題解決への道標となるよう、作成プロセスでの地域住民の人材発掘・育成を行い、各コミュニティ協議会における「繋がり(ネットワーク)」再構築を支援します	1-1-①	ワークショップ着手法数(コミ協数)	11		地域コミュニティ協議会の未来ビジョン策定支援	・各コミ協(全11コミ協)単位のワークショップ開催を支援 ・各コミ協で策定した未来ビジョンを取りまとめて区の内外に発信		
2	「アキハスムプロジェクト」の理念のもとで、秋葉区の特長や魅力をブランド化し、戦略的に発信することにより、地域アイデンティティの醸成を図ります。移住モデル地区による移住・定住促進へ向けた取り組みを支援するとともに、市民活動に取り組む新たな人財を発掘・育成することで、地域や住民とともに魅力あるまちづくりを進めます。	11-1-③	移住相談窓口での相談件数	65件		アキハスムプロジェクト Vol.3	・移住・定住促進に向けた相談窓口開設 ・移住に関する相談対応のためコンシェルジュを設置し、移住・定住の推進を強化		
		11-1-①	コンシェルジュの人的ネットワーク構築と会議開催	9回			・移住相談窓口を市特設ウェブサイトやSNSにより情報発信 ・ネットワーク構築により相談者への対応を強化		
3	「安心安全なまちづくり」を推進するため、土砂災害発生時に備えた対応の強化に取り組みます。	13-1-③	防災行政無線設置基数	3ヶ所		土砂災害地域防災行政無線整備	土砂災害が想定される地域において、避難情報を発信し、市民が迅速に避難できるように、防災行政無線を整備します。		
		13-1-③	区災害対策本部事務局の災害対応訓練の実施回数	1回		区災害対策本部事務局の災害対応訓練	・土砂災害に係る避難情報の発令を想定した区災害対策本部事務局の災害対応訓練を実施することにより、実効性のある体制づくりに努めます。		
4	エネルギーの効率的な利用の推進による環境にやさしくて安心・安全なまちづくりを進めるため、地域特性を生かした再生可能エネルギーの利用を促進し、脱炭素社会の実現と効率的なエネルギー利用を推進します。	16-1-①	関係部署間の連携を図る検討会や勉強会、「秋葉区みらい会議」への出席	6回		再生可能エネルギーの利用促進と地域単位でエネルギー利用の最適化を図るシステムの構築を検討	官民協働による再生可能エネルギーの利用の促進と地域単位で自家発電や蓄電を含む効率的なエネルギー利用の最適化を図るシステムの構築について検討します。		
5	適正な事務の執行を確保するため、内部統制制度による事務ミスや不正の発生防止に努めます。	行財1-1-①	課内研修開催件数(回)	2回		事務ミス等の発生防止に向けた課内研修の開催	職員研修などにより、内部統制制度に基づいた事務ミスの事例(他の所属のミスを含む)を共有します。		

組織目標管理シート

年度	令和5年度	(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う市民の割合	作成日	R5.4.1
組織名(部)	秋葉区	組織名 (準部・課・機関名)	区民生活課	評価日	

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)			
1	親切丁寧で分かりやすい窓口対応、総合的な案内を実践するため、職員のスキルアップを目指します。		各係業務についての課内研修の実施 研修後の確認テスト	平均8.5点以上		課内研修の実施	職員の一人ひとりのスキルアップを図ることで窓口サービスにおける市民満足度の向上を図ります。		
2	区役所の窓口サービスにおける市民満足度の一層の向上を図ります。	行財1-1-①	窓口アンケートの実施 窓口アンケートの平均点(点)	平均4.5点以上		窓口アンケートの実施	アンケート実施し、窓口サービスにおけるニーズを把握し、市民満足度を向上に努めます。		
3	日常業務の改善を進めるとともに、効率的な業務を行うため、職員提案を促し改善を実施します。		改善項目の抽出、改善の実施	見直し・改善 20件 (各係5件)		日常業務改善・実施	窓口アンケート等により、市民ニーズを把握し窓口の改善に取り組みます。		
4	ゴミの無いきれいな生活環境の保持に努めます。		パトロールの実施	12回以上		きれいな生活環境の保持	不法投棄防止に向け、重点監視地点のパトロールを定期的 に実施し、ごみの無いきれいな生活環境の保持に努めます。		
5	国民健康保険料の収納率を向上させます。		国民健康保険料ペイジー口座振替受付サービス申込件数	申込件数638件以上 (過去5年の実績平均:638件)		口座振替の利用促進	国民健康保険制度の運営基盤となる保険料の収入向上に向けてペイジー口座振替受付サービスの活用による口座振替の推進に努めます。		

組織目標管理シート

年度	令和5年度	(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う市民の割合 ・日頃から災害に対する備えをしている市民の割合	作成日	R5.4.1
組織名(部)	秋葉区	組織名 (準部・課・機関名)	小須戸出張所	評価日	

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)			
1	市民の信頼と期待に応えられるよう、職員の市民対応の質を向上させ、市民の視点を大切にしたい信頼される市政を推進していきます。	行政1-1-①	・職場内研修 ・専門研修	・職場内研修の開催6回 ・専門研修参加延べ人数10人以上		・窓口での応対力向上に向けた職場内研修 ・スキルアップのための専門研修への参加	窓口での実例を基にした研修を座学形式で取組み、制度のより深い理解と応対力の涵養を図ります。 また、区民生活課や本庁が実施する専門研修に参加します。		
2	自主防災組織による防災訓練の実施など、幅広い世代が参加する地域防災活動を支援します。	政策13-1-①	・事前準備等検討会参加 ・小中学校参加の有無	・検討会参加回数 ・小中学校が参加		小須戸コミ協、山の手コミ協の防(減)災避難訓練実施に係る全般的な活動の支援 実施日11月11日(土)	災害発生避難の訓練内容や、小中学校の訓練参加の調整など、両コミ協の検討会に参加し、円滑な実施に向けての支援を行います。		

組織目標管理シート

年度	令和5年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができると思う高齢者の割合 ・障がいを理由として差別・暮らしにくさを感じたり、いやな思いをしたことがない障がい者の割合 ・新潟市は子育てしやすいまちだと思ふ保護者の割合 ・健康寿命(日常生活に制限のない期間の平均)	作成日	R5.4.1
組織名(部)	秋葉区役所	組織名 (準部・課・機関名)	健康福祉課			評価日	

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)				概要
1	地域包括ケアシステムによる生活支援として、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、継続的な支援と仕組みづくりに取り組みます。	政策7-1-②	認知症に関する普及・啓発活動実施回数(回)	10		・認知症高齢者等にやさしい地域づくりの推進 ・認知症に関する知識の普及・啓発	・認知症への理解を深めるため、区だより、FMIにいつ、ポスター等掲示による啓発活動を行い、高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちづくりに努めます。			
2	「秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画」の理念を広く区民に周知・普及しながら、地域住民や関係機関と連携・協力して健康づくりや福祉課題を解決する取り組みを推進します。	政策7-2-①	障がい者理解講座参加者アンケートの理解度(%)	「とても理解が深まった」「理解が深まった」が80%以上		・障がい者理解講座 ・保護者支援講座	・障がい者への理解を広げ、地域で支える仕組みづくりを考える機会とする ・療育教室などを利用している子どもの保護者を対象に、悩みや心配ごとを共有できる仲間づくりを推進することで、不安感や孤立感の解消を図る			
		政策4-1-③ 政策4-3-① 政策4-3-②	子育てに関する講座等の開催回数(回)	小さな森の広場75回 パパママ銭湯24回 デイケアルームHUGママ24回 育ちの森講座41回 会社 164回		・子育てサロン ・産前産後リフレッシュ事業 ・子育て講座	・地域で安心して子育てを行うための、ライフステージに応じた切れ目ない支援 ・上記に関する情報の発信(区づくり事業や育ちの森で開催するの子育て講座の実施回数など)			
		政策4-1-③ 政策4-3-① 政策4-3-②	子育てサポーターの訪問件数(件)	320件		・子育てサポーター訪問事業				
		政策4-1-③	出張ほっとステーション等子育て情報の発信件数(回)	育ちの森12回 たんたん・どんぐり・ぼかぼか各1回 合計15回		・子育て支援情報の発信				
		政策7-1-①	フレイル予防事業の参加延べ人数(人)	1,000		・フレイル予防教室、及び講座の開催 ・地域のイベントでのフレイル予防啓発事業 ・運動普及のため住民サポーターへの研修	・子どもを含めたフレイル予防、生活習慣病予防の普及・啓発(ロコモ予防の取り組み団体への支援、小児生活習慣病予防健診後の講座の開催)			
		政策6-1-①	事業参加者の生活習慣の重要性に対する理解度	80%		・小学校6年生を対象 ・ジュニアドック(生活習慣病健診) ・からだづくり講座				
		3	窓口サービスにおける市民満足度のさらなる向上を目指します。	行財1-1-①	研修会実施回数(回)	7		課内研修の実施	・各係の業務からテーマを設けて研修会を実施	
4	継続的な業務改善を実施し、効率的・効果的な市民サービスを行います。	行財1-2-①	改善実践報告の件数(件)	21		業務改善の実施	・各係で業務や窓口等における継続的な改善を実施			

組織目標管理シート

年度	令和5年度	組織名 (準部・課・機関名)	産業振興課	(参考) 関連する総合計画に おける政策目標	・観光入込客数 ・農業産出額推計値 ・新潟市の農水産物などに対して誇りや愛着を持つ市民の割合 ・地域団体、民間事業者、学校など多様な主体との協働数	作成日	R5.4.1
組織名(部)	秋葉区					評価日	

○
: 達

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)			
1	地域資源を活かし、秋葉区の交流人口の拡大を図ります。		参加者アンケートにおける里山施設等への再訪意向(%)	50%以上		・わくわく石油楽習事業	・石油の世界館友の会と連携し、里山にある石油資源を活用した小学校6年生向けの講座の実施 ・里山文化(自然、施設、歴史など)に関する事前学習の実施 ・通常の学校事業に即したテーマ(地層)を学習内容に加え、より地域を身近に感じてもらう ・講師と連携し、子ども向け教材の新規作成を検討		
		政策5-1-②	Akihaマウンテンレーパークの1日平均利用者数(人)	50人		・里山未来創造事業	・里山にある秋葉公園の自然を活かした、子ども達が自由に遊べる場「Akihaマウンテンレーパーク」の開設 ・SNS等を活用した子育て世代への発信力の強化 ・遊びの内容(手法や遊具)の充実		
		政策10-1-②	観光案内所「あ！キハ」1日平均利用者数(人)	60人		・アキハ「鉄道物語」	・JRや商店街連合会、観光協会、鉄道資料館と連携した新津駅東口における観光案内所の開設 ・レンタサイクルの貸し出し ・鉄道資料館による開館40周年記念特別展との連携 ・鉄道に関連した取り組みや事業への支援		
		政策9-1-⑤	日本ボケ展への来場者数(人)	6,500人		・園芸推進事業	・日本ボケ展の開催支援 ・他団体による企画展との同時開催		
2	緑豊かな里山や河川などの恵まれた自然環境を次世代に引き継ぐべき貴重な財産と捉え、人と自然が調和した美しい景観の保全と活用を図ります。		廃止石油坑井封鎖事業	調査・検討		・廃止石油坑井封鎖事業	有識者による会議を立ち上げ、石油井戸の封鎖に向けた測量や工事方法などを検討し、事前調査と関連工事を実施		
3	「もち麦」を核に、農業・福祉・健康づくりの各分野で様々な取組を展開します。	政策9-1-⑤	「秋葉の里 白雪もち麦」販売促進事業数	13 事業		・アキハもち麦推進事業Vol.2	イベントへの出展や小学校への総合学習など販売促進、広報宣伝事業の実施		
4	新潟薬科大学等との連携により互いの資源や成果を共有するなど交流を深め、教育機関の英知を活かした施策展開や地域との連携につなげることで、質の高いまちづくりを進めます。	行財3-2-③	大学等との連携事業数	8 事業		・新潟薬科大学等との連携事業	新潟薬科大学等の教員、学生との連携による事業の実施		

